

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

# WAVE

リンテックウエーブ

*Linking  
your  
dreams*

MARCH 2024

94

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長  
社長執行役員

服部 真

第130期  
(2024年3月期)  
第3四半期  
決算情報

証券コード:7966



みょうこうざん

妙高山 (2,454m、新潟県)

株主・投資家の皆様とまだ見ぬ高みを目指すという想いを込め、今年度の当誌では日本百名山の風景を表紙としています。

## 目次

### 2 連結業績推移

### 3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長  
社長執行役員

服部 真

### 4 トピックス

### 5 2023年度 新聞広告シリーズ

### 6 決算情報

### 8 セグメント情報

### 11 株式情報

#### (免責事項)

業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## 連結業績推移

### 売上高



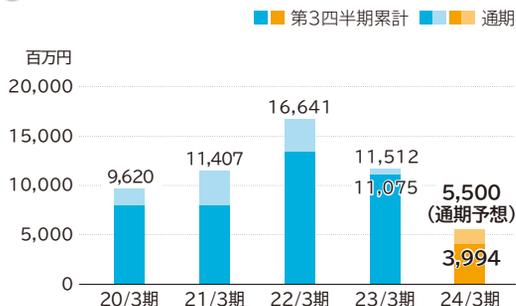
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



## 株主・投資家の皆様へ

▶ 2024年3月期第3四半期連結累計期間(前年同期比)

売上高

**203,529**百万円 (6.0%減)

営業利益

**6,516**百万円 (50.8%減)

経常利益

**7,398**百万円 (51.4%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

**3,994**百万円 (63.9%減)



代表取締役社長  
社長執行役員 **服部 真**  
はっとり まこと

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループの2024年3月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、価格改定や円安による押し上げ効果に加え、第3四半期以降、全般的に受注は回復傾向にあったものの、上期における電子・光学関連製品の販売数量の大幅な減少や米国子会社の不調をカバーするまでには至らず、上記のとおり減収減益となりました。

当社グループでは、この4月から3か年にわたる新中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」をスタートさせます。2030年を見据えた長期ビジョンの重点テーマである「社会的課題の解決」「イノベーションによる企業体質の強靱化」「持続的成長に向けた新製品・新事業の創出」を念頭に、E(環境)・S(社会)・G(企業統治)の要素を最

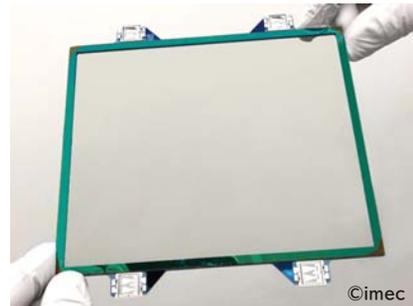
大限に考慮した経営を行うとともに、成長事業に対する積極的な投資や資産・資本の効率改善、事業ポートフォリオの最適化などに取り組んでまいります。いかなる経営環境にあっても揺るぎのない企業へと変貌を遂げ、さらに業界におけるトップランナーとなるために、新製品開発力、製造力、営業力に一層磨きをかけることで、長期ビジョンの達成を目指していく覚悟です。株主・投資家の皆様には、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

▶ 2024年3月期 連結業績予想(前期比)

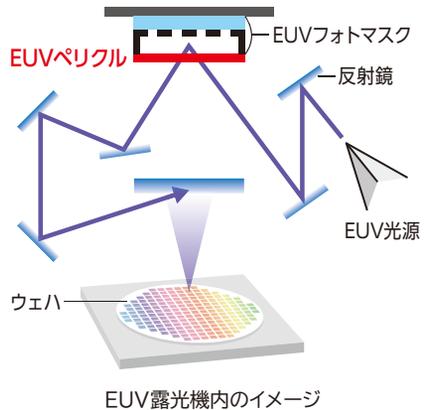
売上高	<b>2,750億円</b> (3.4%減)
営業利益	<b>90億円</b> (34.8%減)
経常利益	<b>100億円</b> (35.9%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>55億円</b> (52.2%減)

## 次世代半導体向けのEUV露光機用ペリクルの要素技術を確立

デジタル半導体の高性能化や高機能化、製造コスト低減などに伴い、搭載される半導体素子の回路パターンの微細化が進んでいます。微細回路の形成にはEUV (Extreme Ultraviolet: 極端紫外線) 露光機が用いられ、露光機の性能向上に伴い、耐熱性などに優れた高耐久な防塵材料(ペリクル)の開発が求められています。当社グループでは、以前よりカーボンナノチューブ(CNT:筒状炭素分子)シートの開発を手がけてきた米国の研究開発拠点であるナノサイエンス&テクノロジーセンターにおいてCNT製ペリクルの高度の要素技術を確立しました。CNTは直径がナノメートルレベルの非常に細い炭素材料でありながら、高温環境で使用しても化学変化や強度低下を引き起こしにくい特性を持っています。さまざまな用途での応用が期待されており、特に半導体関連分野での用途展開を見据え、2025年度までに新たに約50億円を投じて、第一次量産体制の構築を進めていきます。



CNT製EUVペリクル膜のイメージ  
(写真提供: imec)



EUV露光機内のイメージ

## INTERVIEW



リンテック・オブ・アメリカ社  
ナノサイエンス&テクノロジーセンター長  
こんどう たけし  
**近藤 健**

当センターではユニークなCNTの特徴や機能を最大限活用可能とするシート状や糸状に加工した新素材の開発に注力しています。また、次世代のEUV露光機に対応したCNT製ペリクルの開発に加え、CNTそのものが半導体関連素材としても注目されていることから、同分野における新材料の開発を幅広く行っています。さらに、導電性や耐久性、柔軟性に優れるCNTをグローブなどに編み込んだウェアラブルセンサーへの活用など、半導体関連以外の分野においても用途開拓を進めています。当社グループが持続的成長を遂げていくために、ナノ材料の研究開発を一層強化し、将来の柱となる事業を創出していきます。